

令和3年度茨城県小中学校長研究協議会（鉾田市・小学校部会）報告

テーマ：感染症対策を踏まえた働き方改革

【協議の概要（要旨）】

小学校2分科会で話し合いを行った。

- 行事などのねらいを再確認し、今年度、中止・削減・変更などを行った教育活動について、来年度以降も継続すべきかどうかを検討していく。

1 効果を上げた具体的取組

- (1) 運動会の午前中開催（練習時間の短縮、教員の負担減、保護者からも好評）
陸上記録会の校内実施（市内実施は人的措置も難しい、いずれは社会体育へ移行）
- (2) 学期末事務期間の設定 配布文書をメール送付へ 家庭訪問を家庭確認へ
鑑賞の時間を使い作品を掲示しない（子ども中心の活動にした）
- (3) 職員会議、終会の1/2参加
清掃活動を週2回にした。（学校サポーターの配置により、消毒や清掃を依頼）

2 令和4年度以降の取組

- (1) 新しい生活様式に基づく取組
 - ・手洗い、消毒等の感染症対策は、日常的な習慣として徹底を継続していく。
 - ・集会活動については、リモートで行うことがスムーズになり、一堂に会することの必要性に応じて工夫していく。
- (2) 通常の生活に戻った後、取り組むべき取組
 - ・運動会の午前中実施と種目の精選
 - ・陸上記録会の校内実施
 - ・学校サポーターの配置
 - ・PTA行事の精選
 - ・飲食の軽減
 - ・家庭確認
 - ・体力向上の維持向上
 - ・特別活動の精選
 - ・夏季休業中の作品募集の精選
 - ・朝夕の登校支援の精選
 - ・スクールバス乗車に係る業務の精選
 - ・テレビ会議システムを活用した他校との交流

3 今後の課題と対策

- ・2学期制 通信票
- ・校務支援システムの活用
- ・留守番電話の導入
- ・メール配信の有効活用（お便り等）